

【別紙様式2】

千葉県県土整備部所管公共事業事前評価自己評価調書

事業名	旧江戸川橋梁(仮称)新設事業
担当課名	道路計画課

1. 事業の概要

(1) 事業の目的	東京都江戸川区と千葉県葛南地域は江戸川・旧江戸川に隔たれ、都県間の移動の際には限られた橋梁に交通が集中することから、慢性的な交通混雑が発生しており、都県間の交流・連携の妨げとなっている。 都県間の交通混雑の改善を図るとともに、災害時の代替性の確保など防災力を強化するため、旧江戸川を渡河する新たな橋梁を整備するもの。		
(2) 事業の内容			
①事業期間・時期	事業期間：10 年間 令和4年度～：調査・設計・用地取得 令和7年度～：本工事 令和13年度末：供用開始		
②事業規模	延長：約 0.8km <内訳>旧江戸川橋梁（仮称）約 0.2km 千葉県取付部約 0.4km、東京都取付部約 0.3km 幅員：15.0m～26.0m（2 車線） ※四捨五入の関係で、合計が一致しない。		
③事業費	全体事業費：120 億円		
④事業位置	東京都江戸川区江戸川一丁目～千葉県市川市押切		
(3) 指標			
①事業目的	②指標	③現状値	④目標値
道路ネットワークの強化	葛南地域における都県を跨ぐ路線数(一般道路)の増加	4 路線	5 路線
交通の円滑化	都県境橋梁の混雑緩和	今井橋(県道東京市川線) 混雑度 1.16	今井橋(県道東京市川線) 混雑度 0.99
救急搬送の迅速化	救急搬送時間等の短縮 (行徳市街地～江戸川病院(二次))	17 分 (今井橋経由)	11 分 (旧江戸川橋梁(仮称)経由)
防災力の向上	災害時の避難救助活動、救援物資の輸送機能強化	1 ルート (市川市行徳地区～江戸川区)	2 ルート (市川市行徳地区～江戸川区)
地域の利便性向上	行徳地域における鉄道利用圏域の拡大	都営新宿線瑞江駅 自転車 10 分圏域 0 km ²	都営新宿線瑞江駅 自転車 10 分圏域 0.97 km ²

2. 必要性

(1) 現状及び課題	【現状】 東京都江戸川区と千葉県葛南地域は、江戸川・旧江戸川によって隔たれ、都県間の移動の際にはこれらの河川を渡河する必要があるが、橋梁が限られていることから交通が集中し、慢性的な交通混雑が発生している。 また、災害時には、避難者や帰宅困難者等の避難行動や救助・救援活動の支障となっている。 【課題】 ・限られた橋梁に交通が集中することによる交通混雑 ・都県間の交流・連携が阻害 ・災害時に、避難者や帰宅困難者等の避難行動や救助・救援活動が支障
(2) 上位政策及び全体計画との関連	令和2年3月に策定した千葉県道路整備プログラムにおいて都との連携を強化する道路として、整備を進める路線に、旧江戸川橋梁(仮称)を位置付け。 市川市都市計画マスタープランでは、地域を連携する軸として位置付けられ、市川都市計画道路3・4・25号線として昭和42年2月に都市計画決定されている。 江戸川区都市計画マスタープランでは、都市間の連携を強化する橋梁として位置付けられ、東京都市計画道路幹線街路補助線街路第143号線として昭和22年11月に都市計画決定されている。
(3) 優先度及び適時性	【優先度】 江戸川、旧江戸川に架かる限られた橋梁に交通が集中していることから、交通混雑が発生し、都県間の交流と連携の妨げとなっているため、新たな橋梁の整備により都県間の道路ネットワークを形成する当該事業の優先度は高い。 【適時性】 慢性的な交通混雑の緩和のほか、災害時の代替性を確保するために早期整備が必要である。
(4) 代替案との比較	旧江戸川橋梁(仮称)の現計画は都市計画決定しており、別ルートは、周辺のまちづくりや都市計画との整合が図られないことから、現計画が最も優位である。

3. 経済的・社会的効果

○国土交通省のマニュアルに基づく費用便益分析の結果、3便益の現在価値化後(基準年令和3年度)の金額は、走行時間短縮便益で136億円、走行経費減少便益で27億円、交通事故減少便益は9億円であり、費用便益比(B/C)は1.9と便益が費用を上回っている。 ○旧江戸川橋梁(仮称)の整備により、以下の効果が見込まれる。 ・都県間の新たな道路ネットワークを形成。 ・都県境橋梁の交通の分散による交通混雑の緩和。 ・病院への救急搬送距離が短くなることによる、救急搬送時間の短縮。 ・災害時における、救助活動や救援物資の輸送機能の強化、代替性の確保など防災力の向上。
--

4. 財政的負担等の見通し

当該事業は、国庫補助事業を活用して事業を進める予定である。
なお、事業着手後は、設計において最新技術の活用等を検討しコスト縮減に取り組む。

5. 環境に与える影響

【環境への影響】

下記項目について環境影響予測を実施したところ、供用時にはいずれも基準値内の予測値であったが、事業の実施にあたっては、低騒音及び低振動の工法、建設機械の採用などを行っていく。

項目	予測結果	基準
二酸化炭素	基準の範囲内	1時間値の1日平均値が0.04～0.06ppmのゾーン内又はそれ以下
浮遊粒子状物質	基準の範囲内	1時間値の1日平均値が0.10 mg/m ³ 以下であり、かつ1時間値が0.2 mg/m ³ 以下
騒音	基準の範囲内	幹線交通を担う道路に近接する空間の環境基準(昼間70dB、夜間65dB)以下
振動	基準の範囲内	第2種区域の要請限度(昼間70dB、夜間65dB)以下
低周波音	基準の範囲内	一般環境中に存在する低周波音圧レベル(90dB)、ISO7196に規定されたG特性音圧レベル(100 dB)以下
日照	基準の範囲内	建物2階高さで日影時間5時間以内(近隣商業地域)

また、水質・動植物に関する文献調査を行ったところ、以下の結果であったため、事業の実施に伴って生じる動物への影響や水質の確保について今後、検討していく。

項目	文献調査結果
動植物	動物について、重要な動物種として40種の魚類と180種の底生生物の生息と水鳥が利用している可能性があるため、事業の実施に伴って生じる動物(魚類、底生生物、水鳥)への影響について、配慮する必要がある。植物について、重要な植物は生育していない。
水質	水質の状況は、健康項目については、いずれも環境基準以下。 河川区域内に橋脚を設置する事が必要となるため、水質の確保のために配慮する必要がある。

6. 総合的な評価

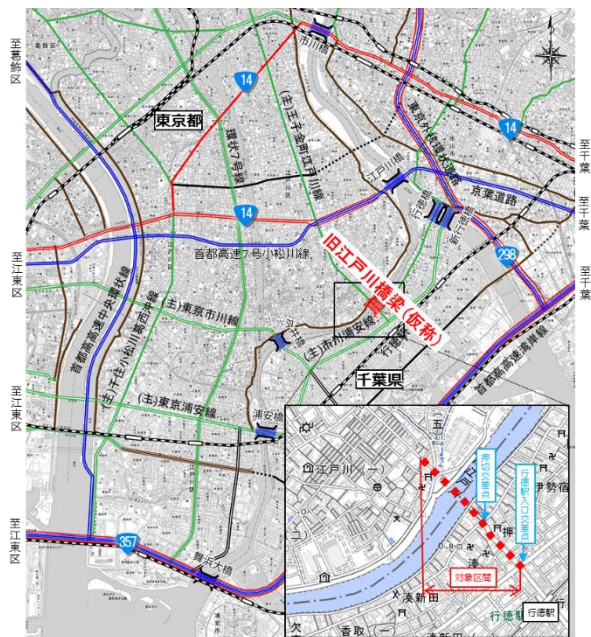
本事業は、費用便益分析の結果B/Cが1.9であり、投資効果が見込めるとともに、周辺地域の交通混雑の緩和が図られ、救急活動や防災等の効果が見込まれるため、令和4年度から事業に着手し、早期整備を図る。

【別紙様式3】

事業概要図

事業名	旧江戸川橋梁（仮称）新設事業	路線又は箇所名等	東京都江戸川区江戸川一丁目～ 千葉県市川市押切
-----	----------------	----------	----------------------------

【位置図】



【平面図】



※四捨五入の関係で、合計が一致しない。

【断面図】

・千葉県側：取付部

・東京都側：取付部

・渡河部



【側面図】

